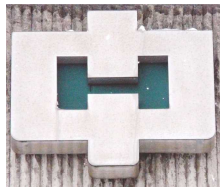


教育目標 「 豊かな心で たくましく 自分の人生を切り拓く 生徒 」

重点目標 「 豊かな心 確かな学力 健やかな身体 」



あ さ ひ こ 朝 日 子

佐渡市立畑野中学校 学校だより

平成29年 3月14日(火) No.24

著・編 校長 加藤雄一郎 (TEL 66-2058)

語り継がれる感動の卒業式 ～ 感謝と信頼 ～

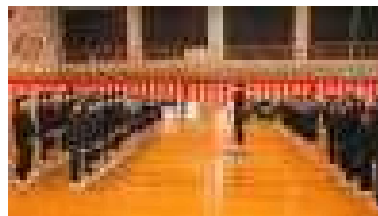
第70回卒業証書授与式が、10日(金)、春の訪れを感じる穏やかな日射しの中で挙行されました。卒業生一人一人としっかりアイコンタクトをして、“おめでとう、これからも頑張るんだよ”と目でもメッセージを送りながら、31名に卒業証書を手渡しました。卒業生の凛とした姿や態度はさすがでした。

式辞では、「卒業生の思いやりと笑顔を基盤に、畑中の黄金時代の幕開けにふさわしい年になったこと、在校生もより良いものにしようとして卒業生に付いて一緒に頑張ったこと、男女・学年を超えた全校の心通うまとまりが『畑野中らしい』こと、『主体性』『目的意識』『協調性』『向上心と行動力』を意識して活躍してほしいこと」等、お礼とお祝いを述べました。

その後、在校生送辞、卒業生答辞と代表生徒が思いを伝え合いました。卒業生との思い出と感謝、在校生や同級生との信頼、親や先生方への感謝の気持ちが述べられました。これまでの深いかかわりが信頼を育んでいたと感じます。

式後の卒業記念合唱では、全校合唱「旅立ちの日」と卒業生合唱「友 ～旅立ちの時～」が披露され、フィナーレを飾りました。涙をこらえられず歌う姿はとても感動的でした。生徒会主催の見送りと在校生と卒業生のエール交換も心通う微笑ましいものでした。

謝恩会でも、卒業生一人一人が仲間や保護者、先生方への感謝の気持ちを自分の言葉で述べ、別れを惜しんでいました。学年PTAの思いがこもった素晴らしい企画・運営でした。会場は我が子の成長と卒業をみんなで心から祝福するムードに包まれ、感慨深いものがありました。卒業生に幸多かれと祈っています。



送 辞 在校生代表 青木

寒さも少しずつ和らぎ、春の訪れを感じさせる季節となりました。今日旅立ちの日を迎えられた卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。在校生一同心からお祝い申し上げます。

今、皆さんを前にすると、ともに過ごした日々が様々に思い出されます。入学したばかりの頃、不安の多かった私たちに優しく声を掛けてくださり、親切にいろいろなことを教えてくださいましたのは先輩方でした。

あれから2年間、皆さんとともに過ごしてきた月日の中で、特に思い出に残っていることは、やはり皆さんと多くの時間を過ごした部活動です。技術も体力も十分ではなかった私たちは、筋トレやフットワークなど上手くできないことがたくさんありました。そんな時、いつも皆さんは励ましてくださいました。そして、



真剣な表情で練習に取り組む先輩方の姿はとても頼もしく、かっこよく見えました。私たちは先輩のようになりたいと努力を続け、少しずつ試合に勝てるようになりました。

また、いろいろな場面で助けられ、私たちの進むべき方向を示してくださいました。特に、何と言っても輝いていたのは、3年生となってからの皆さんの活躍です。全校のために全力を尽くす皆さんは、私たちにとって、とても大きな存在であり、学ぶべきものがたくさんありました。その一つが「先輩」としての自覚を常にもち、後輩を引っ張ってくれた姿です。生徒総会や生徒朝会の時、私たちは前に出ると、下を向いてしまったり、堂々と話すことができず。しかし、皆さんは前に出ると、相手をしっかり見て、大きな声で確実に伝えてくださいました。それを見て、私たちは見習わなければならないと思いました。

生徒会スローガンとして、「栄冠～語り継がれる黄

金世代～」を目標に、行事、生徒会活動、各種大会と、輝かしい実績を築いてくださいました。正に今年度は3年生による黄金時代の始まりとなりました。

そんな中で、何と云ってもかなわないと思えたのは、“チームワークの良さ”です。それをハッキリと見せてくださったのが、合唱です。一人一人が目的に向かって課題を捉え、練習量はどの学年よりも確実に確保していたこと。これはチームワークの良さがなければできないということを私たちも経験から知っています。先輩方のあの素晴らしい合唱は、一人一人が仲間を思いやる優しさ強い絆から生まれものであったからこそ、聞く者に大きな感動を与えたのだと思います。

思えば、先輩方はどんな場面でもリーダーシップを

発揮し、生き生きとした2年間にしてくださいました。私たちは皆さんのお陰で成長し、充実した日々を送ることができました。私たちは先輩方が築いてくださった畑中の黄金時代をしっかりと引き継いでいきたいと思えます。

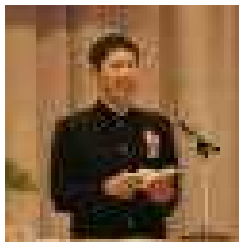
これまでの先輩方をお手本としながら、これからいろいろなことに挑戦し、畑野中を一層発展させたいと思えます。

卒業生の皆さん、私たちは先輩方と過ごしたかけがえない時間を決して忘れません。お別れをすることは寂しく、名残は尽きませんが、本当にありがとうございました。

最後に、旅立ちのこの佳き日を心から祝福し、送辞といたします。

答 辞 卒業生代表 服部

窓から見える景色にも、どことなく春の気配が感じられるようになってきました。本日は私たち、卒業生31名の為に、このような式典を催していただき誠にありがとうございます。また、ご多用の中、ご出席くださいましたご来賓の皆様、校長先生を始めとする全ての先生方、並びに関係者の皆様に、卒業生一同心から御礼申し上げます。



今から4年前、私たちは畑野小学校で出会いました。それから流れるように時間が過ぎました。気付けばもう中学校卒業の日です。長いようであつという間だった日々。振り返れば、様々な出来事が思い出されます。二軍に分かれてもそれぞれみんな一致団結した熱き体育祭。合唱や生徒会企画などで芸術を創造した文化祭。また、ともに汗を流して技術の向上を目指した日々の部活動。私たちにはたくさんの思い出があります。

しかし、私の一番の思い出は、行事よりも実は普通の日々の中にあります。毎日笑い、何をやっても楽しく、仲間とともに学び、そして語り合い…そんな日々が心に深く刻まれています。いつも一緒だった31名の仲間たち。本当にこのメンバーでよかったと心底思います。誰か一人欠けても考えられない31名という一つの仲間。この仲間と一緒にいられたことを本当に幸せだったと思います。そんなかけがえない仲間たちとも今日を限りに別れなければならない現実に、寂しい気持ちでいっぱいですが、忘れずにいたいことがあります。それは、これまでがそうであったように、これからも一人一人の心の中には常にみんながいて、お互いを応援してくれているだろうということです。これからそれぞれの道に進んでも、心の中ではずっとつながっている。私たち31名はそんな仲間であったことを今日の別れに臨み、改めて心に刻みたいと思います。

さて、1・2年生の皆さん、今日まで本当にありがとうございました。1・2年生の皆さんはいい人ばかりで、3年生が何かをしようとする時、文句一つ言わずに手を貸してくれました。私は皆さんと出会って本当によかったと思っています。ありがとうございます

た。来年度からは2年生の皆さんが最高学年となり全校を引っ張らなければなりません。また、1年生の皆さんは2年生となり、3年生をサポートしつつ、新1年生のお手本にならなければなりません。大変なこともたくさんあると思いますが、そんな時こそ手を取り合い、協力することが大切です。学年、男女の壁を越えて、協力し合い、よき伝統を受け継いでいってください。そして、新たな畑野中学校の伝統を生み出してくれることを願っています。

今日まで私たちを支え、指導してくださった全ての先生方、ありがとうございました。反抗したり、悪いことをしたりして迷惑をかけたこともありました。しかし、誰一人として見捨てることなく、熱心に愛情を注いでくださいました。勉強や部活動、行事などで、不安なことや苦しいこともたくさんありました。そんな時、先生方はいつも私たちに寄り添い励まし、私たちを導いてくださいました。私たちはそんな先生方が今もこれからも大好きです。先生方からご指導いただいたことを胸に、明日からそれぞれの道をしっかりと歩んでいきたいと思えます。今まで本当にお世話になりました。ありがとうございました。

そして、15年間私たちを見守り、今日まで育ててくださったお父さん、お母さん。思春期真っ只中で、言うことを聞かない時もたくさんあったと思えます。しかし、見放さず毎日私たちを陰で支えてくださいました。そんなかけがえない存在にいつもは恥ずかしくて言えない思いますが、この場を借りて心から感謝の思いを伝えたいと思えます。ありがとうございました。まだまだ未熟な私たちですが、独り立ちできるまであともう少し、私たちのことをよろしく願います。

この命が尽きるまでに何百、何千人との出会いがある中で、偶然が重なり合い、ここにいる全ての方々と巡り会えたことに感謝したいと思えます。畑野で育ち、そして、この畑野中学校を卒業できることが何よりもの幸せです。本当にありがとうございました。

最後に、畑野中学校の益々の発展を心からお祈り申し上げます。答辞といたします。